

現代に伝わる縄文の技術

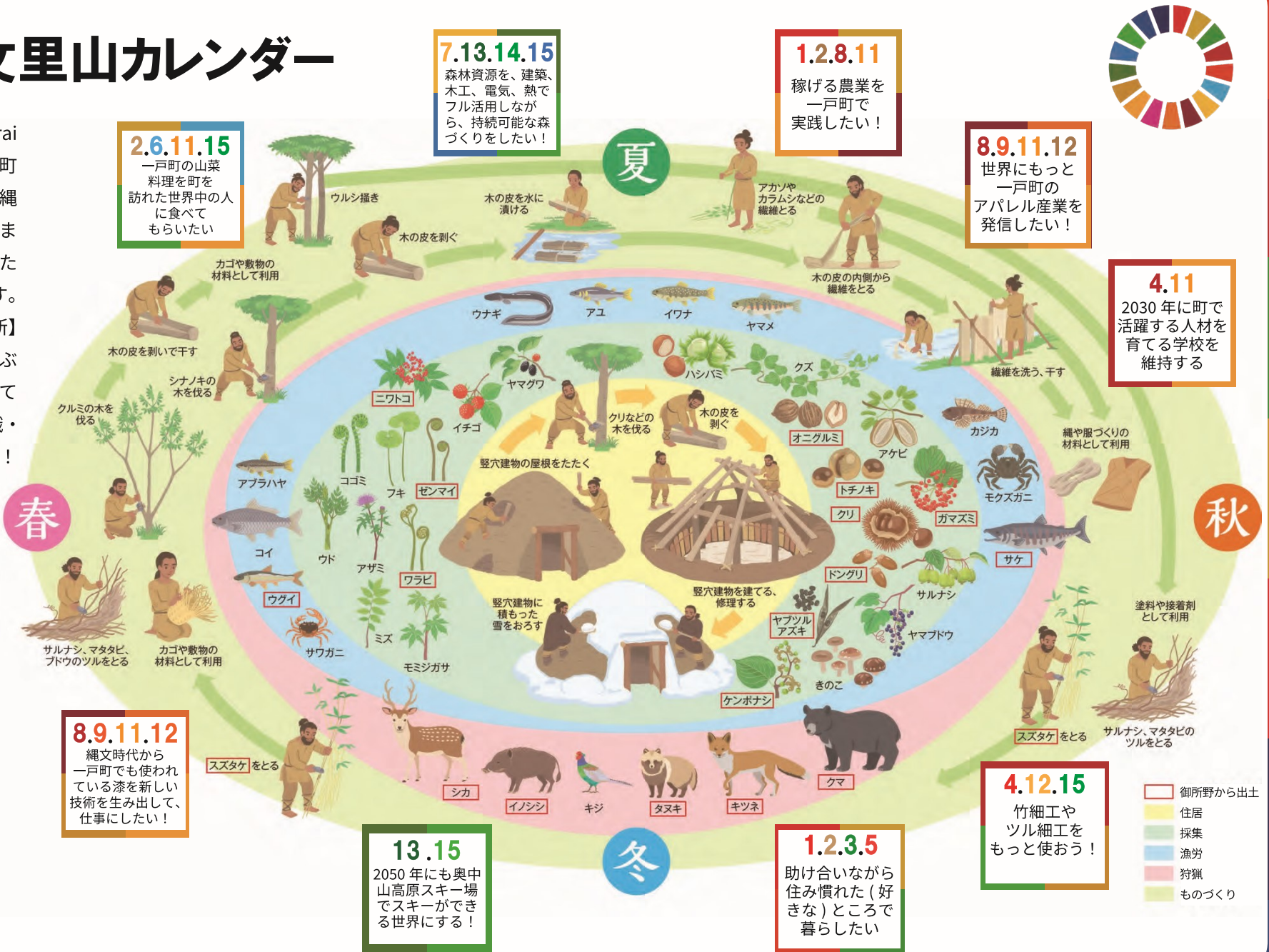
御所野縄文里山カレンダー

第1回北いわて SDGs mirai カフェでは、2030年の一戸町で幸せに暮らせるヒントを縄文里山カレンダーから探しました。ここではその時に合ったアイデアの一部を紹介します。
【一戸町 × 温故知新】縄文時代を改めて知る、学ぶことで、今の生活、そして2030年に向けた新しい知識・知恵を導きましょう！

17 パートナーシップで目標を達成しよう

一戸町 × SDGs
一戸町 × ワクワク
高校生 × 企業 × 町民

- ・一戸町でも「パートナーシップで目標を達成しよう」が重要
- ・一戸町の中でもあらゆる人たちが一体となり協力する
- ・大樹の年輪のように私たちも取り組みを重ね、さらに4000年続く町にしたい



2.6.11.15
一戸町の山菜料理を町を訪れた世界中の人に食べてもらいたい

7.13.14.15
森林資源を、建築、木工、電気、熱でフル活用しながら、持続可能な森づくりをしたい!

1.2.8.11
稼げる農業を一戸町で実践したい!

8.9.11.12
世界にもっと一戸町のアパレル産業を発信したい!

4.11
2030年に町で活躍する人材を育てる学校を維持する

8.9.11.12
縄文時代から一戸町でも使われている漆を新しい技術を生み出して、仕事にしたい!

13.15
2050年にも奥中山高原スキー場でスキーができる世界にする!

1.2.3.5
助け合いながら住み慣れた(好きな)ところで暮らしたい

4.12.15
竹細工やツル細工をもっと使おう!

- 御所野から出土
- 住居
- 採集
- 漁労
- 狩猟
- ものづくり